

2023年5月17日  
スポーツ未来開拓会議(第7回)

## ゴルフ産業の現状とその可能性

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン

取締役副社長 COO

吉川 雄大



## はじめに:ゴルフダイジェスト・オンライン(GDO)とは

顧客データベースを活用し、インターネットを通じて「ゴルフメディア」「ゴルフレッスン」「ゴルフ用品販売」「ゴルフ場予約」「ゴルフ練習場サービス」を5つの柱(5つの異なる収益源)としてサービスを展開



月間ユーザー数(PC+SP) 約921万人※1  
月間表示回数 約1.6億回※1

提携ゴルフ場数 1,900コース以上  
ゴルフ場予約 月間送客数 約78万人※1

月間注文件数 約100,500件※1  
取扱商品点数 新品約10万点、中古約4万点

公式Facebook いいね数 112,127  
公式LINE お友達数 1,079,762  
公式YouTube 登録者数 10.6万人 <2023年3月末時点>

## はじめに:GDOのサステナビリティ方針

Sustainability Theme :

### ゴルフ、スポーツを通じて、 人々の心身の健康に働きかけること

GDOグループを取り巻くあらゆるステークホルダーにとって重要でありかつ当社グループの強みを活かしながら貢献できることは何かという基準に照らし、「社会」、「環境」、「健康」、「人」の4項目を当社グループが取り組むサステナビリティ活動の柱として定義しました。

GDOグループはサステナビリティ活動への取り組みに際して常にパートナーシップを重視します。社会地域コミュニティと一緒に、取引先・パートナー・ゴルフ業界全体で、従業員みんなで、あらゆるステークホルダーと協力して持続可能な社会の実現を目指します。

これらの活動の土台には当社グループの「コーポレートガバナンス」があります。

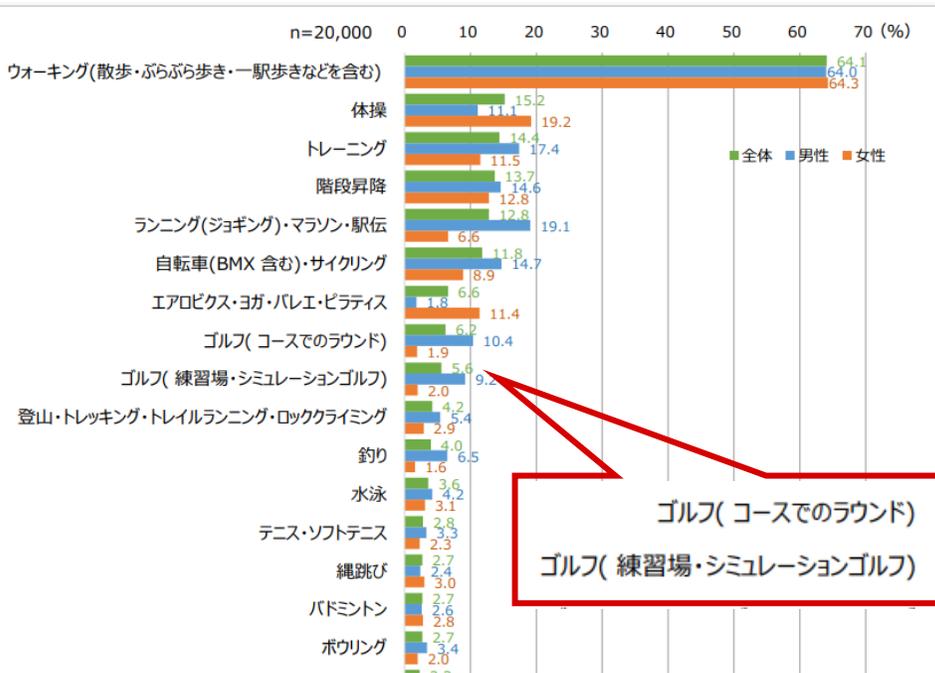


# Golf×Well-Being

CHAPTER

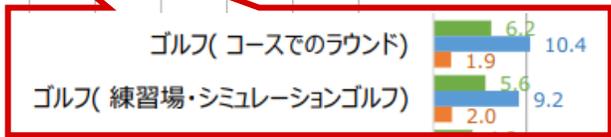


# Golf × well-being: ライフタイム

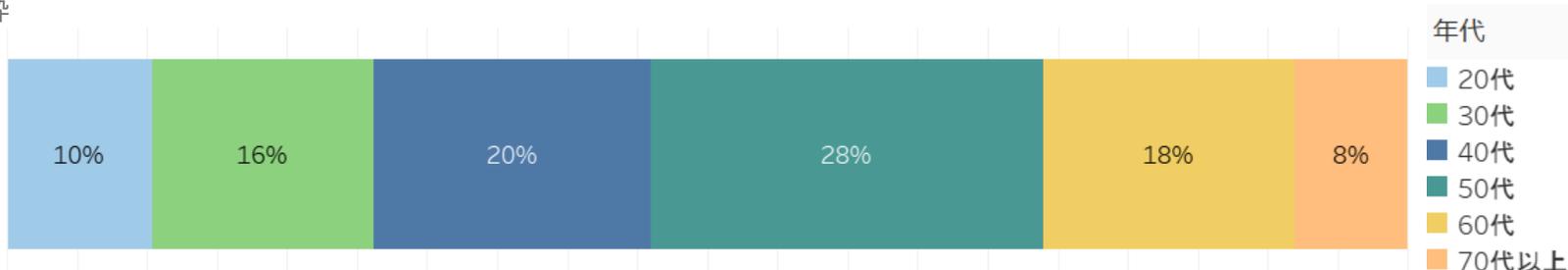


ウォーキング、体操、トレーニング、階段昇降という日常の運動を除き、ランニング、自転車に続きゴルフ(コース+練習場)を合算すると参加人数が第3位の規模。

GDOでのゴルフ場予約データから見ても20~70代以上までと幅広い年代が楽しんでいることが分かり、ライフタイムの長いスポーツといえる。



※令和3年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の概要 一部抜粋

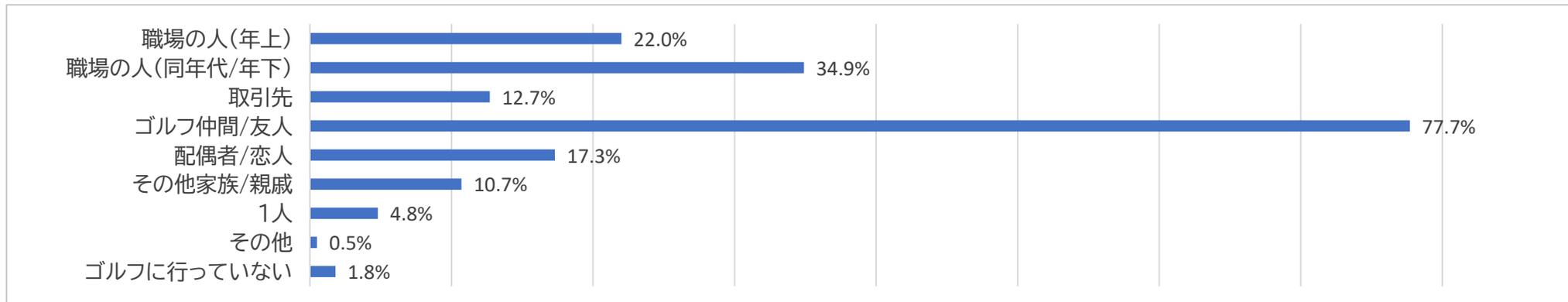


※参照データ: GDO社内データ

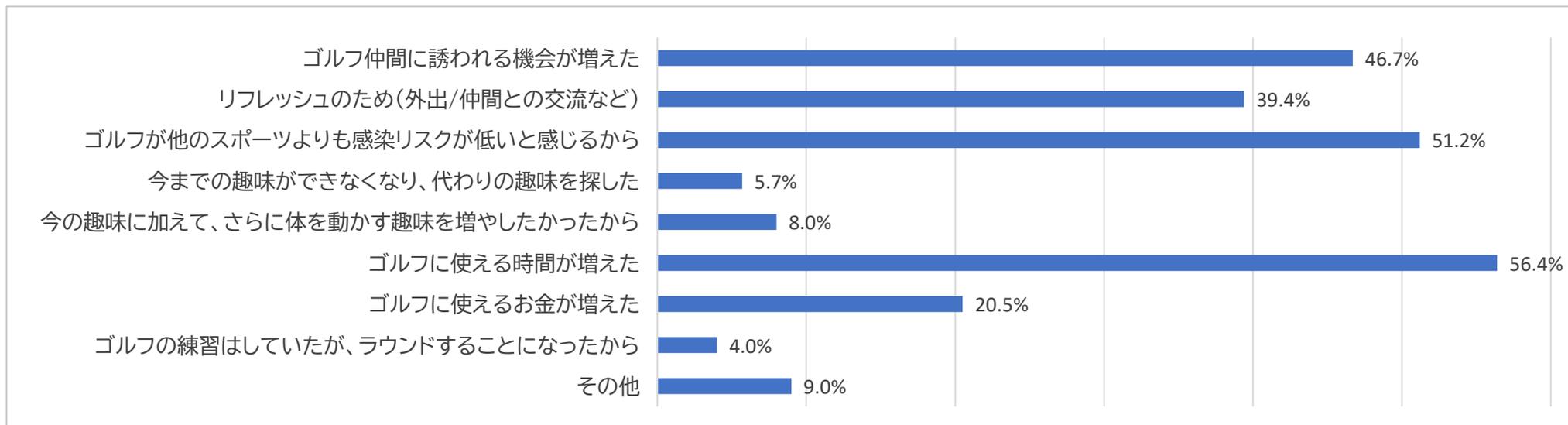
※本データは、2021~2023年現在までの、GDOサイト経由でプレー予約を申し込んだ会員を年代割合で集計したもの

## Golf × well-being:プレー理由

### ● どなたと一緒にゴルフに行っていましたか？(MA) n= 3,446



### ● 昨年の同時期と比較して、プレー回数が増えた理由をお答えください。n= 424



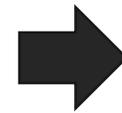
## 一 Golf × well-being: ゴルフの魅力

### ■ファクト

- ・参加人口が多く、幅広い年代で楽しめるスポーツである
- ・コロナを経て家族や友人とのプレーが増加
- ・1~4名を基本とし、多人数スポーツと比較し集まりやすい

### ■所感

- ・自然を感じることができ心身のリフレッシュに有効
- ・個人プレーながらも、コミュニケーションスポーツという側面も
- ・上達実感(難易度)もあり、スポーツとしてはまりやすい



**Well-Beingに有効なスポーツ**

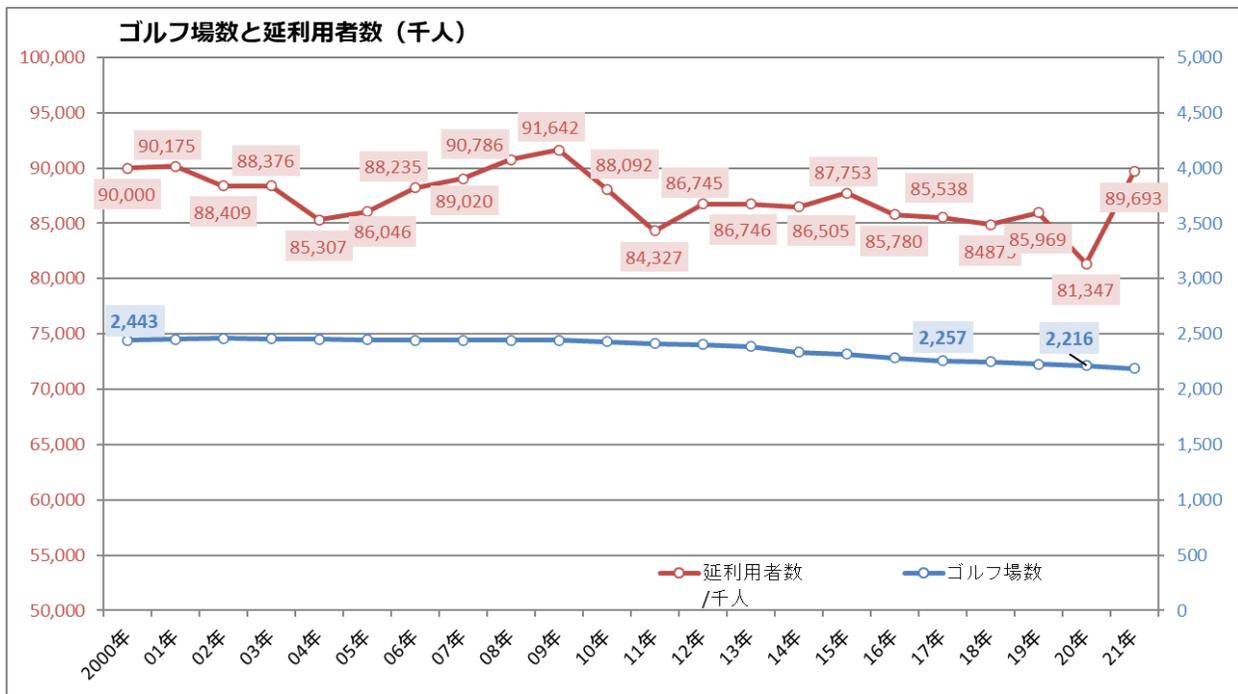
# ゴルフ産業の現状

CHAPTER  
**02**

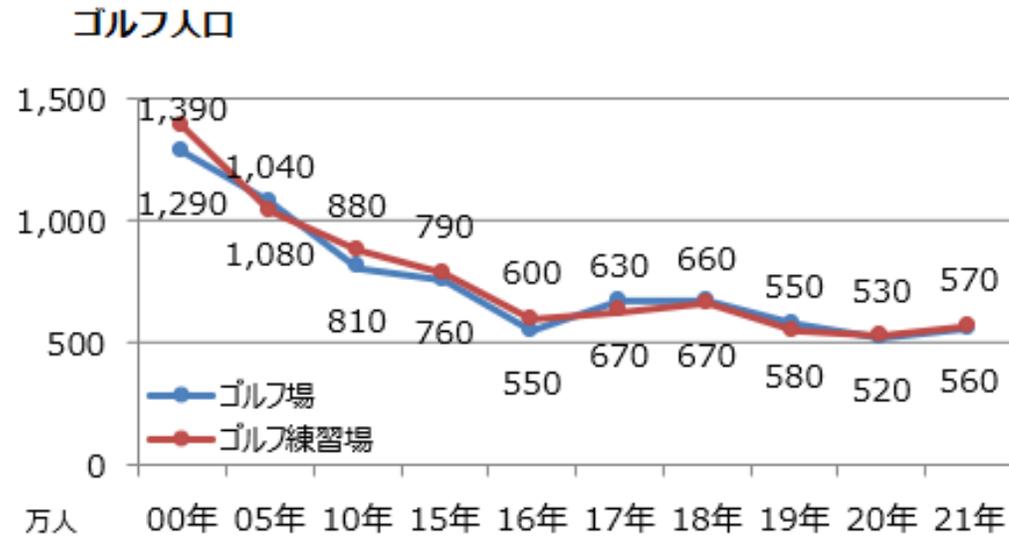


# プレー人口の推移

ゴルフ場来場者数は、2022年は2021年並みと予測(発表はまだ)。2008年～2010年くらいの水準にもどっている。



※参照データ:ゴルフ場セミナー

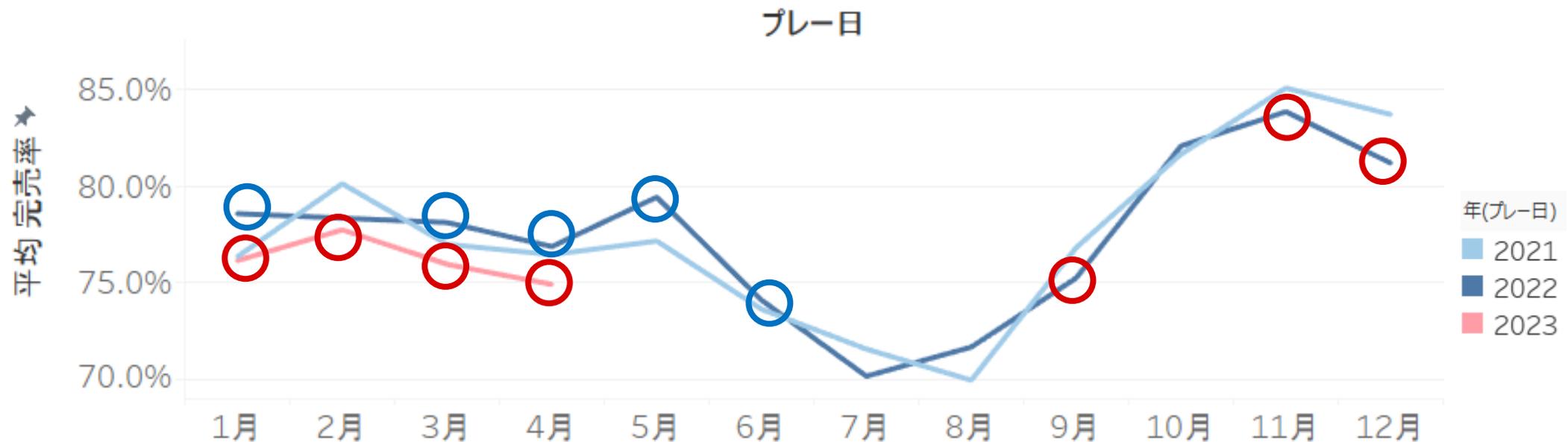


※参照データ:レジャー白書

参加人数  
上がゴルフ練習場  
下がゴルフ場

## 参考:直近のプレー需要の推移

3密回避のスポーツとして、2022年6月くらいまでは、プレー市場は活況だった。しかし、2022年9月以降～現在においては、ややプレー市場は減退していると見ている。5月以降も、この傾向が継続するという予測。



※参照データ:GDO社内データ

※本データは、GDOサイトに掲載されているスタート時間枠が、「GDOサイト、他社サイト、ゴルフ場自社集客など」を通じて、どれくらい予約として埋まったのかの指標

## 一 サマリ:課題と仮説

コロナ禍で行動規制のある中、ゴルファーは一定増加したが、行動規制の緩和に伴い2022年9月頃より減少傾向。しかしながら前述の通りゴルフ自体はWell-Beingには有効と考える。

若年層や女性といったノンゴルファーの取り込みには参入障壁を下げる必要があり、それには既存のゴルフのカタチを変えより取り組み易いカタチに変換していく必要がある。

→ゴルフ場:9H以下のプレーの推奨(時短)/ゴルフ場自体の多様化(ゴルフ以外の活用)

→練習場:エンタメ化による「練習」と「遊び」の共存

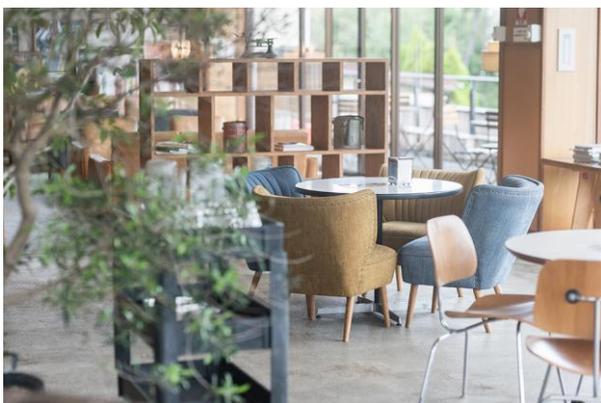
# GDOの取り組み事例

CHAPTER  
**03**



## GDO茅ヶ崎ゴルフリンクス

ゴルフをしない人も訪れる場所にしたい。そんな思いからゴルフ場の利活用として、パートナーと組み、クラブハウス2Fのレストランスペースをカフェとしてオープンさせ、地域をはじめ、茅ヶ崎へ遊びに来た方々も来場ができる場とした。その後旧コース管理のスペースをリニューアルし、Villageと称しサーファーやサイクリスト、ドッグランスペースで犬連れの方々などゴルフをしない人たちにも開かれたスペースへと進化。



## 近隣小学生向け卒業イベント(2021~) @GDO茅ヶ崎ゴルフリンクス

修学旅行をはじめとする各種学校イベントが中止となる中、6年生を対象に卒業前の思い出作りとしてゴルフ場へご招待。午後からゴルフ場を貸し切り、ゴルフ、フットゴルフ体験、風船飛ばしなど各種コンテンツを実施し半日をゴルフ場で遊んでもらう企画。

2021年は3番ホール隣の1校、22-23年は茅ヶ崎市内の4校を対象に実施。



東海岸小学校

茅ヶ崎小学校

松浪小学校

浜須賀小学校

## Night Picnic&市民開放 @GDO茅ヶ崎ゴルフリンクス

住宅街にあり地域の広域避難場所に指定されているGDO茅ヶ崎GL。また、昨年、一昨年と茅ヶ崎で行われる祭りが全て中止となっていたこともあり、「Night Picnic」と称し地域の方々を対象に夜のゴルフ場を開放したイベントを実施。LED ボールを使ったNight ゴルフやヨガ、ヘルスケア、地域のNPOと組んだマイクロプラスチック問題など様々なコンテンツを実施。2022年は700名以上方が来場。別途、ノンゴルファーに向けてフェアウェイでのヨガや犬の開放イベントなども実施。



## シティプロモーション協定&地域創生の取り組み @GDO茅ヶ崎ゴルフリンクス

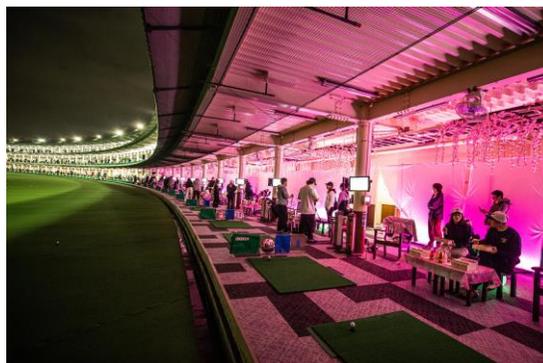
2021年茅ヶ崎市とGDOでシティプロモーションを協定を締結。それを機に茅ヶ崎の魅力を発信していくべく、ゴルフはもちろんながら、ゴルフ場を活用して茅ヶ崎の魅力を発信していくためのイベントを実施。夏休み親子イベントとして、県内では茅ヶ崎GLにしか生息しない固有生物の観察イベントや自由研究としてペットボトルロケットの制作と発射の企画を実施。また、親子を対象としたSUP & GOLF体験イベントを実施。



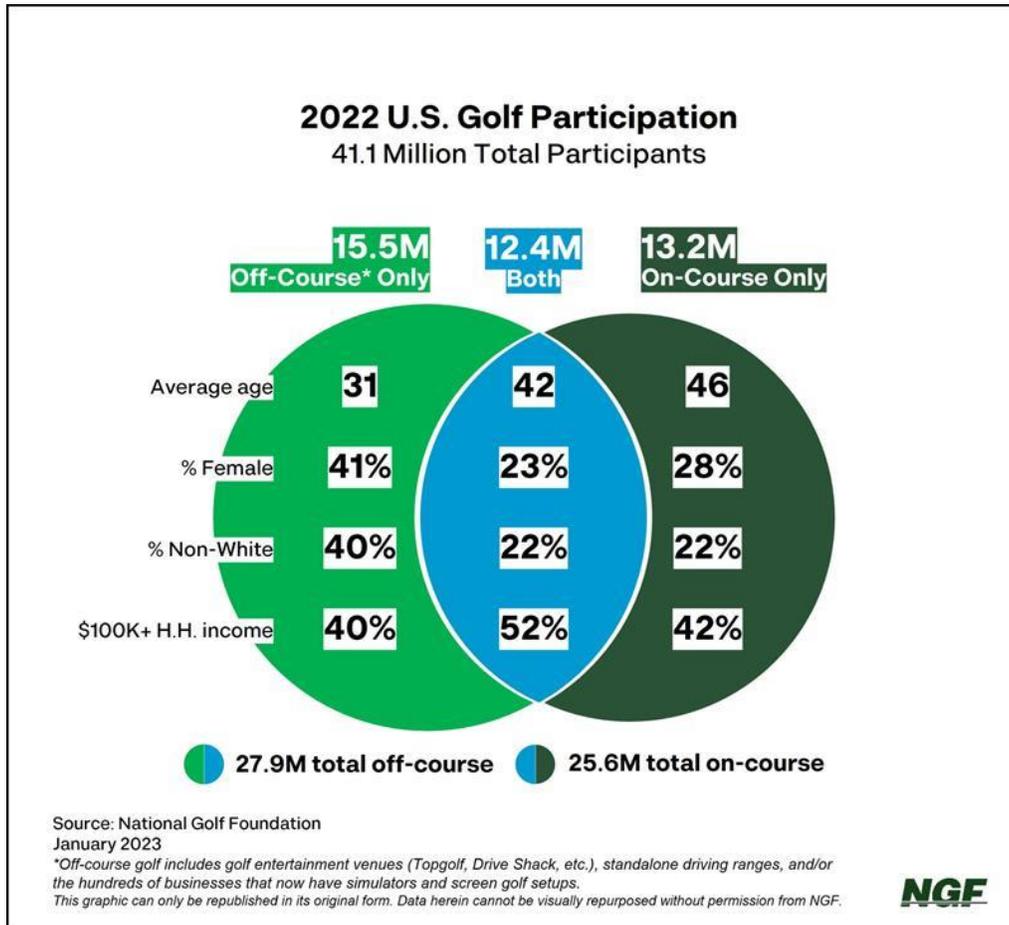
## SAKURA TEE FES @ロッセ葛西 (ゴルフ練習場)

GDOが手掛ける弾道シミュレーション装置(Toptracer Range/以下 TTR)を利用したイベント。  
TTRを用い、ゴルフ練習場を「練習」の場からゴルフで遊ぶ「エンタメ施設化」することを目的に実施。

USのオフコースゴルフ(※後述)の代表格であるトップゴルフの世界観を再現しつつ、TTRの様々なゲームモードを使い、ゴルフをしない人もゴルフ練習場で体を動かしながら近未来のゴルフ練習場の姿を象徴するイベントとして実施。



昨年US NGFから発表されたデータではオフコースゴルファーがオンコースゴルファーをはじめて超えたと発表  
 ※オフコースゴルファー:ゴルフ場以外でシミュレーターやゴルフ関連施設でゴルフを楽しむゴルファー



トップゴルフをはじめとする様々はオフコースゴルフ施設が存在

## ポイント

行動規制が緩和され、様々な選択肢が増えタイムシェアを取ることが難しい中、既存のゴルフは「時間」と「お金」が高すぎるというハードルがある。

また、「既存のゴルフ」がどれだけ素晴らしいとうたっても、ゴルフに興味のない方には届かないのが現状。

そのため、現在の時世の価値観に合うようにゴルフ自体を多様化(アップデート)させていくことが必要と考える。

既存のゴルフのカタチを変える → ゴルフの多様化

**GDOが考える参入障壁の下げ方はゴルフをもっと気軽なものに多様化させ、体を動かす「あそび」として参画できるマーケットを作っていくこと。**

コロナ禍でゴルフは盛り上がったと言われているが、すでに「バブル」は終わり、今後の競技人口の拡大にはゴルフの参入障壁を下げていかなければならないと考えております。

その手段として既存のゴルフに捉われず、ゴルフ自体の多様化(エンタメ化)を進めていくことでより多くの方に気軽に参加しやすい環境を提供することができ、ひいてはwell-beingの向上、スポーツ市場の拡大に寄与していけると考えております。

その環境整備にあたり、国・自治体にも支援していただくと幸いです。

 **PLAY YOUR LIFE**

**GDO**<sup>☰</sup>

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン